

令和6年度予算概算決定及び 令和5年度補正予算の概要

12月22日に閣議決定した令和6年度当初予算、11月29日に成立した令和5年度補正予算の中から主な施策をご紹介します。

令和6年度林野関係予算については、令和5年度補正予算と合わせて、総額4,402億円を計上しました。

特に、公共事業（森林整備事業・治山事業）は、令和6年度当初予算として1,877億円、令和5年度補正予算として745億円、路網の整備・機能強化対策（非公共）60億円（当初・補正）を措置し、総額2,682億円を計上しました。

主要事業ごとのポイントは次のとおりです。

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

〔6当初：144億円〕

林業・木材産業国際競争力強化対策

〔5補正：458億円〕

カーボンニュートラル等を実現し、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進します。

林業・木材産業循環成長対策

国産材供給体制の強化と森林資源の循環利用の確立に向け、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の

導入、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援します。

林業デジタル・イノベーション総合対策

林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、新技術を活用する高度技能者の育成、地域一体で林業活動にデジタル技術をつる活用する戦略拠点の構築等を支援します。

建築用木材供給・利用強化対策

木質耐火部材やJAS構造材の建築物への利用実証・普及、大径材活用に向けた技術開発、JAS製材のサプライチェーンの構築に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、製材やCLTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証等を支援します。

木材需要の創出・輸出力強化対策

非住宅建築物における木材利用の促進、工務店の技術サポート、木材製品の輸出促進、合法性確認の取組などの合法伐採木材の利用促進、木質バイオマスを活用した「地域内エコシステム」の展開、特用



林産物の需要拡大等を支援します。

森林・林業担い手育成総合対策

「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生の林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策、森林経営管理制度を担う技術者の能力向上等の取組を支援します。

「新しい林業」に向けた林業経営育成対策

伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換する「新しい林業」の実現に向け、新たな技術の導入による経営モデルの構築等を支援します。

林業・木材産業金融対策

意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援します。

森林・山村地域振興対策

地域の活動組織や都市部との連携による里山林の保全管理や利用、国民参加の植樹の推進、新たな森林コンテンツの制作・普及に向けた取組、森林由来J-クレジット創出・活用に向けた取組等を推進します。

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

【令和6年度予算概算決定額 14,398（16,143）百万円】

（令和5年度補正予算額（林業・木材産業国際競争力強化総合対策） 45,811百万円）

（令和5年度補正予算額（花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策） 6,000百万円）

<対策のポイント>

カーボンニュートラル等を実現し、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進します。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加（35百万m³ [令和4年] → 42百万m³ [令和12年まで]）

<事業の全体像>

1. 林業・木材産業循環成長対策

- ・路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐を支援
- ・木材加工流通施設、木造公共建築物の整備を支援
- ・木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備を支援

5. 森林・林業担い手育成総合対策

- ・新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、林業経営体の労働安全対策を支援

2. 林業デジタル・イノベーション総合対策

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、新技術を活用する高度技術者の育成、デジタル林業戦略拠点の構築を支援

6. 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策

- ・伐採から再造林・保育に至る収支がプラスとなる経営モデルの構築を支援

3. 建築用木材供給・利用強化対策

- ・都市部における建築用木材の利用実証・普及、JAS製材のサプライチェーン構築、製材やCLTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発や設計・建築実証を支援

7. 林業・木材産業金融対策

- ・意欲と能力のある林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援

4. 木材需要の創出・輸出力強化対策

- ・木の効果の見える化や木材製品の輸出促進を支援
- ・「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大を支援

8. 森林・山村地域振興対策

- ・地域住民や地域外関係者による森林の保全管理等を支援

豪雨・地震等に起因する山地災害から国民の生命・財産を守るため、流水対策や機能強化対策の充実、流域治水との連携拡大など、国土強靱化に向けた取組等を推進します。

治山事業 **公共**

【6当初：624億円、5補正：268億円】

森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向けた間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等の推進に加え、花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え等を推進します。

森林整備事業 **公共**

【6当初：1,254億円、5補正：477億円】

10年後に花粉発生源となるスギ人工林を2割減少させることを目指し、花粉が多いシーズンでも現在の平年並みの花粉量までとなるよう、花粉症対策初期集中対応パッケージに掲げられた、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、スギ花粉飛散量の予測・スギ花粉の飛散防止の取組を推進します。

花粉症解決に向けた緊急総合対策 **一部公共**

【5補正：60億円】